取扱説明書 ―― 保管用

調光 LED直付形照明器具
（天井付専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　　　　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕 様

品　名	光　源	適合電線	使用電圧
LD-2933-N　LD-2936-N　LD-2937-N	Power LED 8.0W×6(白色)	VVFｹｰﾌﾞﾙ φ1.6	AC100V (±6%)
LD-2933-L　LD-0936-L　LD-2937-L	Power LED 8.0W×6(電球色)		

※1回路の最大接続台数は15台までです。　15台を超える場合は別途ご相談下さい。

この取扱説明書のマークについて

⚠ **警告**　説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ **注意**　説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は必ず守ってください。
🚫　このマークのついている説明文は行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、 取扱説明書および本体表示にしたがって、 正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❗ 端子台に差し込むケーブルは、 必ずＶＶＦΦ１.６の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ ボルト吊り専用器具です。それ以外の取付け方はできません。
★器具の落下による、器具その他の破損や「けが」の原因となります。

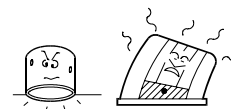
🚫 次のような場所には取り付けないでください。
○傾斜天井および天井面以外の場所。　○補強材の無い場所への取り付け。
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け。　○凹凸のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による、器具その他の破損や「けが」の原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損による「けが」や漏電、感電事故の原因となります。

🚫 一般屋内用器具です。屋外や浴室などの湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

🚫 ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やLED光源寿命低下の原因となります。
温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意下さい。

⚠注意

❗ ＡＣ１００Ｖ専用です。 必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100 V)以外で使用した場合、器具寿命が短くなる事があります。

❗ この器具は周囲温度５℃～３５℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、LEDユニット寿命短縮の原因となります。

🚫 調光器(ライトコントロール)と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。(次項を参照して下さい。)
★不良点灯や調光器、照明器具の故障また火災の原因となります。

⚠注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で 8 ～ 10 年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度 30℃以下、年間 3000 時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

ヒビの入ったカバーや欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

同品名商品の LED 光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。

照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。

調光器適合表

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。
★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

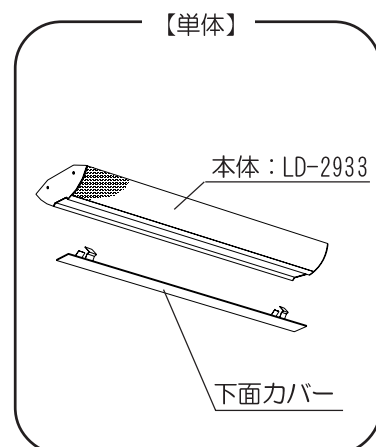
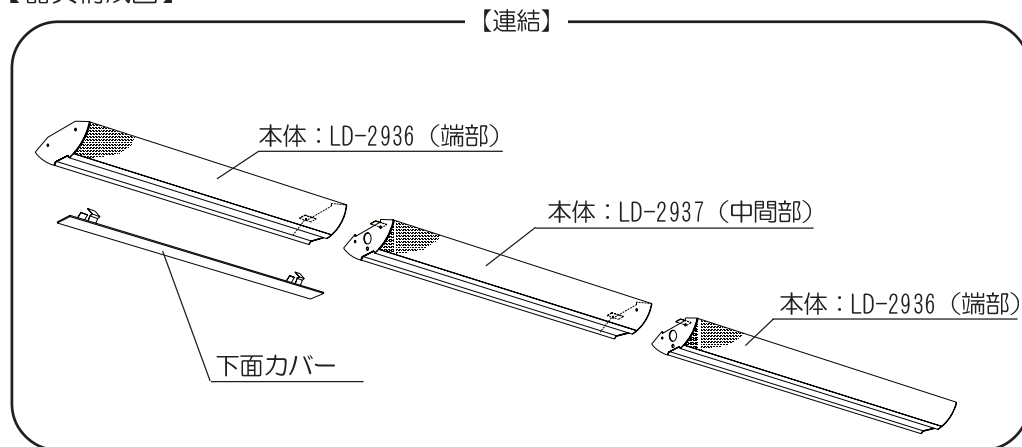
調光器	調光器品番	1 回路当たりの接続数	インターフェース ※1
ﾎｰﾑﾜｰｸｽ用ﾏｴｽﾄﾛ（LUTRON 社）	HWD-4NE-JA-	1 ～5 台（調光器 1 台に対して）	不要
ｸﾞﾗﾌｨｯｸｱｲ QS（LUTRON 社）	QSG-*P-100-	1～ 7 台（1 ゾーンに対して）	不要
		8 ～15 台（1 ゾーンに対して）	NGRX-PB-JA-WH
ｸﾞﾗﾌｨｯｸｱｲ 3000（LUTRON 社）	GRX-310*-T-JA-	1～ 7 台（1 ゾーンに対して）	不要
		8 ～15 台（1 ゾーンに対して）	NGRX-PB-JA-WH
調光盤（LUTRON 社）	JDP-**・GP-4	1～15 台（1 回路に対して）	不要

※1　インターフェースが必要な場合は 1 回路に 1 台を必ず 1 接続して下さい。
NGRX-PB-JA-WH：パワーブースター

★ 調光器との接続方法につきましては別途ご相談下さい。
★ 電源を入れても点灯していないように感じられる場合は、電源投入後、一度調光レベルを上げて動作の確認をしてくだい。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】

【付属品】

- 取り扱い説明書（本書）・・1 枚
- 保証とアフターサービスについて・・・・ 1 枚
- 下面カバー取り外し用六角レンチ・・・1本
- 連結用 M5 ネジ・ナット（LD-2936・LD-2937 のみ）・・・各1個

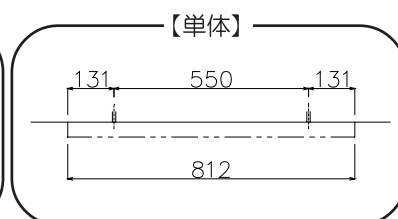
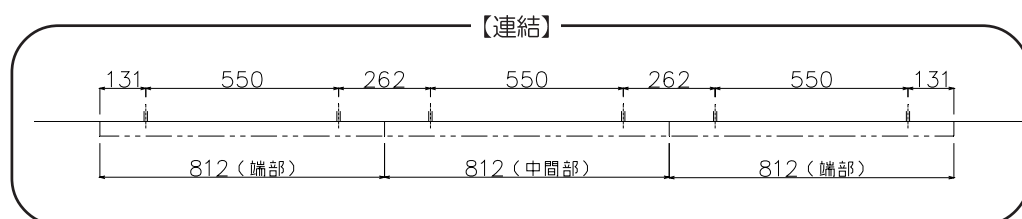
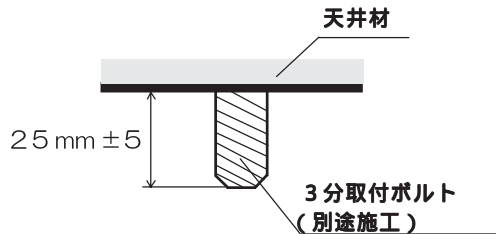
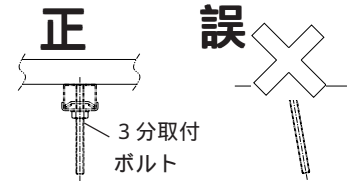
取り付け場所の確認

⚠警告

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に

●3分取付ボルト位置・取付ボルトの長さを確認してください。

3 分取付ボルト位置図

ボルトの出寸法

●取付ボルトはレースウェイ等を使用し、
必ず垂直に降ろしてください。
※傾斜したボルトはボルト受金具に無理な
力が加り、器具変形の原因となります。

取り付け方

⚠**注意** ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

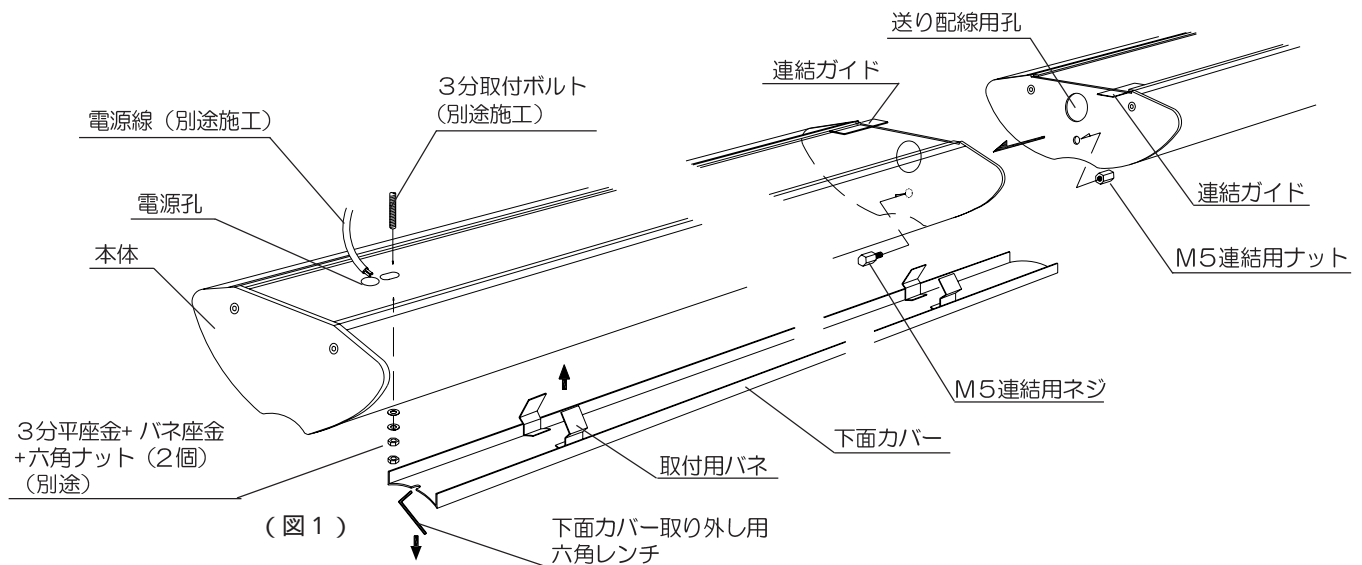
※本製品は直線連結仕様です。端部から順に取り付け（仮止め）、連結を行ってください。

１．端部から順に本体を天井に取り付け仮止めします。（図１）

①電源線を電源孔から 本体の中へ引き込みます。
②三分取付ボルトに本体を通したあと座金と六角ナット（２個）で仮止めします。

２．本体を連結します。（図１）

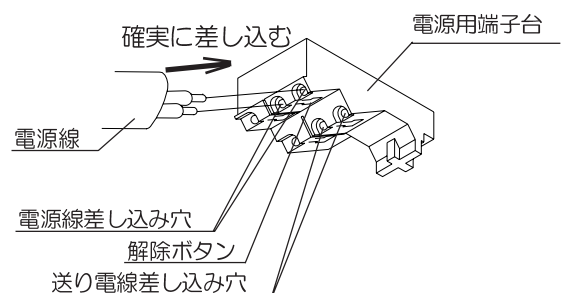
①仮止めした本体同士の水平レベルを合わせます。
②連結する本体同士の連結ガイドをもう一方の本体の溝に合わせスライドさせます。
③本体をM５連結用ネジとナットで固定します。
④連結の調整が終わった後、水平を保ちながら連結用ネジを締め上げて固定します。

（図１）

３．電源線を接続します。

⚠**警告** ❗ 端子台に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦΦ1.6の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 結線の際、電源線が器具本体に触れないように処理してください。
★器具本体と電源線が直接触れると熱による絶縁被覆の劣化を招きます。

①電源コードを電源用端子台のゲージ（１２ｍｍ）に合わせて剥きます。
②電源用端子台の電源線差し込み穴に差し込みます。
③連結する場合は送り用電線を各本体の送り配線用孔を通しながら
配線してください。
※電源コードをはずす場合は、幅6ｍｍのマイナスドライバーの
先で解除ボタンを真っ直ぐ押すとはずれます。

確実に差し込む
電源用端子台
電源線
電源線差し込み穴
解除ボタン
送り電線差し込み穴

４．下面カバーをセットします。（図１）

●下面カバーを本体に合わせ入れ下から押し上げます。
※下面カバーを取り外す際は、 取り外し用六角レンチを下面カバーに引掛けて、カバーを引き下ろしてください。

スイッチ操作

●壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●１年に１回はお手入れを行い異常が無いか点検をして下さい。また３年に１回は専門業者・有資格者による点検を依頼して下さい。

★点検を行なわずに長時間使用し続けますと、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

●こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。　**★感電事故の原因となります。**

●スイッチを切った直後の光源部品は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。　**★火傷の原因となります。**

●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●光源部品は乱暴に扱わないでください。　**★光源部品の故障の原因となります。**

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

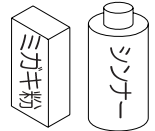
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆光源部品の交換

⚠ **注意** ❗

本製品は、構造上お客様にて光源部品を交換する事ができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。